

南 監 査 号
令和 6 年 1 1 月 1 1 日

南 幌 町 長 大 崎 貞 二 様
南幌町議会議長 側 瀬 敏 彦 様
株式会社 南幌振興公社
代表取締役 大 崎 貞 二 様

南幌町監査委員 白 倉 敏 美
南幌町監査委員 加 藤 真 悟

令和 6 年度南幌町財政的援助団体等監査報告書

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 1 9 9 条第 7 項の規定により実施した財政的援助団体等の監査結果に関する報告を同条第 9 項の規定により、次のとおり提出します。

記

1. 監査実施団体

株式会社 南幌振興公社

2. 監査実施期日

令和 6 年 1 0 月 1 6 日（1 日間）

3. 財政的援助等内容

イ. 株 式 3 0, 5 0 0 千円（出資比率 3 1. 4 %）

ロ. 損失補償 元金 1 8 1, 6 6 0 千円及び利息の合計額を限度

4. 監査の目的と着眼点

財政的援助団体である株式会社南幌振興公社の令和 5 年度決算報告書、貸借対照表、損益計算書、契約書類等の重要書類を閲覧し、南幌町監査基準に基づき経営概況について書類監査と聞き取りを主に実施した。

また、令和 6 年 9 月末現在の経営成績、運営状況、集客状況の推移など、事業実績を基本に南幌リバーサイドゴルフ場の経営概況と収支見込についての聞き取りを主に確認を行うとともに財務諸表の検証を行っている。

なお、千円単位への四捨五入のため内訳と合計が一致しない場合がある。

5. 監査の場所

株式会社 南幌振興公社会議室

6. 監査の内容

① 令和5年度事業実績

営業日数は222日と前年度より4日少なく、入場客数は前年度を47人、0.1%上回った。コース売上高も前年度に比べ3,110千円、2.1%増加した。

【令和5年度コース売上高及び入場者数】

年 度 項 目		令和5年度	令和4年度	前 年 度 対 比	
				増 減	増減率
営 業 日 数		222 日	226 日	△4 日	△1.8%
西・南	売 上 高	131,082 千円	127,499 千円	3,583 千円	2.8%
	入 場 者 数	35,399 人	35,141 人	258 人	0.7%
	客 単 価	3,703 円	3,628 円	75 円	2.1%
北	売 上 高	18,321 千円	18,794 千円	△473 千円	△2.5%
	入 場 者 数	6,603 人	6,814 人	△211 人	△3.1%
	客 単 価	2,775 円	2,758 円	17 円	0.6%
合 計	売 上 高	149,403 千円	146,293 千円	3,110 千円	2.1%
	入 場 者 数	42,002 人	41,955 人	47 人	0.1%
	客 単 価	3,557 円	3,487 円	70 円	2.0%

※ 売上高に消費税及びゴルフ場利用税を含まない。

※ 入場者数に北コースの15歳未満の無料入場者を含む。(令和5年度：96名、令和4年度：116名)

② 令和5年度損益

練習場を含めた総売上高は164,817千円と予算比20,817千円、達成率114.5%、前年比3,449千円、2.1%増加した。

練習場売上高は15,027千円と前年比326千円、2.2%増加した。

売上原価は120,977千円と、前年比2,417千円、2.0%増加した。売上高構成比は73.4%と前年度の73.5%を0.1%下回り、売上総利益は43,840千円と前年比1,032千円、2.4%増加した。

販売・管理費は22,541千円と、前年比△1,930千円、7.9%減少した。営業利益では21,299千円と前年比2,962千円、16.2%増加した。

以上の結果、売上原価が売上高に占める割合の減少を主たる要因として、経常利益(税引前当期純利益)は21,160千円と前年比3,375千円、19.0%増加となった。

【比較損益計算書】

(単位：千円)

科 目	令和5年度					令和4年度		増 減	
	予算額	売上比	決算額	売上比	達成率	金 額	売上比	増 減	増減率
売 上 高	144,000	100.0%	164,817	100.0%	114.5%	161,368	100.0%	3,449	2.1%
売 上 原 価	117,270	81.4%	120,977	73.4%	103.2%	118,560	73.5%	2,417	2.0%
仕 入 高	150	0.1%	283	0.2%	188.7%	271	0.2%	12	4.4%
労 務 費	68,991	47.9%	60,355	36.6%	87.5%	57,759	35.8%	2,596	4.5%
消 耗 品 費	2,390	1.7%	4,908	3.0%	205.4%	7,569	4.7%	△2,661	△35.2%
修 繕 費	6,750	4.7%	14,388	8.7%	213.2%	14,177	8.8%	211	1.5%
種 子 農 薬 費	9,750	6.8%	7,577	4.6%	77.7%	7,905	4.9%	△328	△4.1%
広 告 宣 伝 費	2,529	1.8%	3,639	2.2%	143.9%	2,670	1.7%	969	36.3%
減 価 償 却 費	7,400	5.1%	9,021	5.5%	121.9%	8,735	5.4%	286	3.3%
そ の 他 費 用	19,310	13.4%	20,806	12.6%	107.7%	19,474	12.1%	1,332	6.8%
売 上 総 利 益	26,730	18.6%	43,840	26.6%	164.0%	42,808	26.5%	1,032	2.4%
販 売 ・ 管 理 費	21,323	14.8%	22,541	13.7%	105.7%	24,471	15.2%	△1,930	△7.9%
人 件 費	12,200	8.5%	12,423	7.5%	101.8%	13,425	8.3%	△1,002	△7.5%
広 告 宣 伝 費	7,287	5.1%	8,021	4.9%	110.1%	8,209	5.1%	△188	△2.3%
保 険 料	217	0.2%	217	0.1%	100.0%	1,017	0.6%	△800	△78.7%
そ の 他 費 用	1,619	1.1%	1,880	1.1%	116.1%	1,820	1.1%	60	3.3%
営 業 利 益	5,407	3.8%	21,299	12.9%	393.9%	18,337	11.4%	2,962	16.2%
営 業 外 利 益	783	0.5%	1,748	1.1%	223.2%	1,161	0.7%	587	50.6%
営 業 外 費 用	1,766	1.2%	1,887	1.1%	106.9%	1,713	1.1%	174	10.2%
経 常 利 益	4,424	3.1%	21,160	12.8%	478.3%	17,785	11.0%	3,375	19.0%

(注) ※ 売上原価の労務費に高齢者事業団からの人員派遣委託費を含む。

③ 令和5年度末財務の状況について

令和5年度末の財務規模は758,235千円と前年比13,143千円、1.8%増加した。

1. 資産の部

流動資産は現金・預金が14,920千円増加し、固定資産では有形固定資産が2,724千円減少、投資その他資産が734千円増加した。

【資産の部】

(単位：千円)

科 目		令和 5 年度末		令和 4 年度末		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
流動資産	現 金 ・ 預 金	60,770	8.0%	45,850	6.2%	14,920	32.5%
	そ の 他	2,003	0.3%	1,790	0.2%	213	11.9%
	流動資産計	62,773	8.3%	47,640	6.4%	15,133	31.8%
固定資産	有 形 固 定 資 産	87,968	11.6%	90,692	12.1%	△2,724	△3.0%
	無 形 固 定 資 産	17,697	2.3%	17,697	2.3%	0	0.0%
	コ ー ス 勘 定	574,110	75.7%	574,110	77.2%	0	0.0%
	投資その他資産	15,687	2.1%	14,953	2.0%	734	4.9%
	固定資産計	695,462	91.7%	697,452	93.6%	△1,990	△0.3%
資産合計		758,235	100.0%	745,092	100.0%	13,143	1.8%

2. 負債・純資産の部

負債及び純資産は、流動負債で法人税等充当金が前年比 762 千円増加した。

固定負債では、長期借入金 6,500 千円を償還し、また、固定資産の取得に伴う長期未払金も前年比 2,059 千円減少した。

純資産では、税引後の当期純利益 9,492 千円が増加した。

【負債・純資産の部】

(単位：千円)

科 目				令和 5 年度末		令和 4 年度末		増 減		
				金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
負債の部	流動負債	法人税等充当金		3,224	0.4%	2,462	0.3%	762	31.0%	
		未払消費税		2,679	0.4%	2,276	0.3%	403	17.7%	
		その他流動負債		7,571	1.0%	2,380	0.3%	5,191	218.1%	
		流動負債計		13,474	1.8%	7,118	1.0%	6,356	89.3%	
	固定負債	長期借入金		116,660	15.4%	123,160	16.5%	△6,500	△5.3%	
		長期未払金		1,888	0.2%	3,947	0.5%	△2,059	△52.2%	
		その他固定負債		9,925	1.3%	4,071	0.5%	5,854	143.8%	
		固定負債計		128,473	16.9%	131,178	17.6%	△2,705	△2.1%	
	負債合計			141,947	18.7%	138,296	18.6%	3,651	2.6%	
	純資産の部	株主資本	利益剰余金	資本金		97,100	12.8%	97,100	13.0%	0
利益準備金				24,275	3.2%	24,275	3.3%	0	0.0%	
別途積立金				348,000	45.9%	348,000	46.7%	0	0.0%	
繰越利益剰余金				146,913	19.4%	137,421	18.4%	9,492	6.9%	
小計				519,188	68.5%	509,696	68.4%	9,492	1.9%	
純資産合計			616,288	81.3%	606,796	81.4%	9,492	1.6%		
負債・純資産合計			758,235	100.0%	745,092	100.0%	13,143	1.8%		

④ 令和6年9月末実績と経営概況について

令和6年9月末の営業実績は、練習場及び西南コースは4月6日、北コースは4月13日に営業を開始した。

入場者数や売上高は、4月、6月、8月、9月は前年同期よりも増加、5月、7月は前年同期よりも減少となっており、天候に左右されたことが大きな要因と考えられる。

9月末累計では37,451人と当月末計画の32,100人に対し達成率116.7%、前年同期比2,489人、7.1%の増加となっており、コース管理の状況やWeb予約が功を奏し好調を維持している。

入場者数に占めるWeb予約の割合が9月末現在で20,233人、54.0%と前年度通期の52.5%を上回り集客効果を挙げている。

練習場の売上は、9月末現在で13,186千円と前年同期の12,307千円を上回った。

西・南コースの営業日数は、176日と前年173日に比べ3日多く、北コースは121日と前年同期の119日に比べ2日多くなっている。

9月末のコース売上高は133,301千円と前年同期の122,770千円を10,531千円、8.6%上回っている。入場者数も37,451人と前年同期の34,962人を上回る結果となっている。

【令和6年9月末コース売上高及び入場者数】

項 目		単位	令和6年9月末			前 年 同 期	前年同期対比	
			計 画	実 績	達成率		増 減	増減率
西・南	売 上 高	千円	96,598	116,361	120.5%	107,867	8,494	7.9%
	入 場 者 数	人	27,100	31,334	115.6%	29,578	1,756	5.9%
	客 単 価	円	3,564	3,714	104.2%	3,647	67	1.8%
北	売 上 高	千円	13,600	16,940	124.6%	14,904	2,036	13.7%
	入 場 者 数	人	5,000	6,117	122.3%	5,384	733	13.6%
	客 単 価	円	2,720	2,769	101.8%	2,768	1	0.0%
合 計	売 上 高	千円	110,198	133,301	121.0%	122,770	10,531	8.6%
	入 場 者 数	人	32,100	37,451	116.7%	34,962	2,489	7.1%
	客 単 価	円	3,432	3,559	103.7%	3,512	47	1.3%

※ 売上高に消費税、ゴルフ場利用税は含まない。

※ 北コースの15歳未満の無料入場者を含む。（令和6年度：71名、令和5年度：91名）

7. 監査のまとめ

令和5年度は令和4年度に比べ、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類になったこともあり、総売上高が前年比3,449千円、2.1%増加した。

令和6年度は集客面で定着してきたWeb予約が全体の54.0%と前年より増加した。

自社ホームページの予約サイトをリニューアルし、送客手数料の圧縮に取り組み、その効果として送客人数は前年同期比2,584人、14.6%増加しているが、送客手数料は前年同期比で△89,380円、1.8%減少しており経費削減の努力が伺えた。

コース状況については、春先の融雪は順調に進み良好な状態で営業を開始することができたが、5月、6月、7月の特徴として、降雨日数は多かったが、雨量は少なく、特に6月中旬から7月末にまとまった雨が降るまで干ばつが続き、コースコンディションが低下し営業への影響が心配された。8月、9月は降雨もあり干ばつも解消され芝生の密度も上がり、良好な状態で営業できたことも確認した。

練習場においても、9月末までの計画売上額に対して2,186千円増加、達成率は120.0%となっており、前年同期を上回って好調に推移している。

本年度9月末総売上実績はコース、練習場、売店で146,852千円と前年同期比8.5%の増加と好調を維持している。

引き続き、Web予約等を活用した一層の集客方法の拡大を図ることで、効率化・経営健全化についての取組を進め、財政規律の強化や老朽化している施設・機械等の最低限の維持管理に努めることが重要である。

また、今後の人材確保がますます重要となってくることから、急速に変化する労働法制に対応した就業規則等の整備により人材確保に努められたい。